

「赤坂氷川神社祭礼 神輿渡御」のご報告

赤坂氷川神社祭礼担当

垣内淳

赤坂氷川神社の祭礼は隔年で本祭り／陰祭りとなっており、今年の本祭りにあたる年でした。東京青年会議所港区委員会としての本祭りへの参加は今回が初めてでしたが、9月15日の本宮では15基の神輿と山車が赤坂を鮮やかに彩ることになるはずでした。

しかし誠に残念なことに、当日の朝、台風の影響により本宮を中止とする決定が下されました。雨と風が非常に強く、祭礼を執り行うには危険な状況でしたので止むを得ません。

その日、私と吉岡副委員長は町会の方々と共に撤収作業を行いました。

一方、その2日前の金曜日には町会有志の方々による宵宮が開催されました。

この日は天候にも恵まれ、平日の夜にもかかわらず、他地区からの参加者やメンバーの友人を含む15名が参加しました。

写真はその時の様子ですが、夏の暑さが和らいだ程よい気候の中、私達は東京の中心で心地良い汗を流しました。港区委員会の先輩や地元の方々との楽しい時間を過ごし、祭りや神輿担ぎの醍醐味を改めて体感した次第です。

また、今回は8月には赤坂氷川神社の宮司さんをお招きし、祭りの神事としての意味合いや神輿担ぎの定義など、伝統文化への理解を深めました。事前にこのような機会を作ることで、心と身体の両面から地域の伝統に触れる設えとしました。

残念ながら本宮で神輿を担ぐことは叶いませんでしたが、町会の方々からは東京青年会議所の動員力を評価していただきました。

今後も引き続き祭礼への参加を通じた地域貢献の理想的な形を模索しながら、地元の方々との交流を深めていきます。

あわせて他地区の祭礼にも参加し、東京青年会議所がこうした活動からも地元を盛り上げていく機運を高められればと考えています。

また、この事業はメンバーや入会候補者が楽しみながらJC活動を担う良い機会ですので、次年度は他地区メンバーへの動員告知を早めに行うなど、より多くの方々にこの活動を知っていただけるよう努めます。

